

発生する巨大地震に備えましょう～

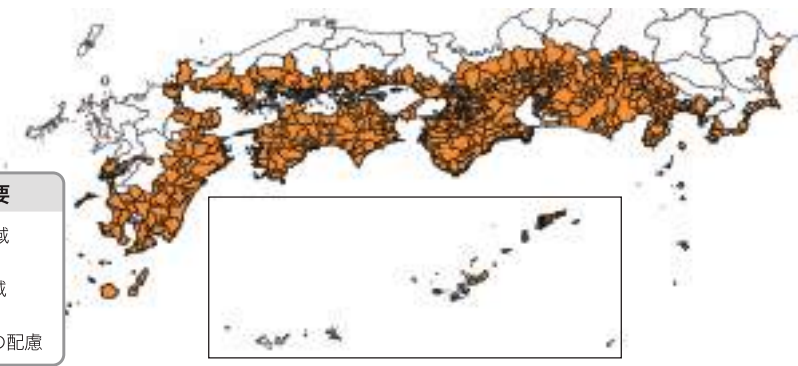


南海トラフ地震に備える地域は…

● 関東から四国・九州にかけての広範囲に及びます

■ 南海トラフ地震で大きな揺れや津波が見込まれる地域

南海トラフ地震
防災対策推進地域



南海トラフ地震に関連する情報について

● 「南海トラフ地震臨時情報」と「南海トラフ地震関連解説情報」

「南海トラフ地震に関連する情報」は南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについてお知らせするもので、「南海トラフ地震臨時情報」と「南海トラフ地震関連解説情報」があります。「南海トラフ地震臨時情報」は、情報名の後にキーワードを付記して「南海トラフ地震臨時情報(調査中)」等の形で発表します。

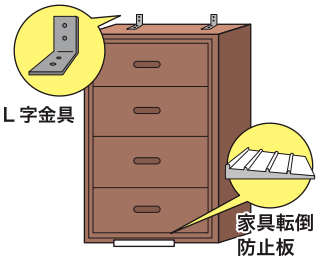


南海トラフ地震臨時情報		発表条件
調査中	■ 観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合	■ 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 ■ 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合
巨大地震警戒	■ 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において M8.0 以上の地震が発生したと評価した場合	
巨大地震注意	■ 南海トラフ地震の想定震源域内のプレート境界において M7.0 以上、M8.0 未満の地震が発生したと評価した場合 ■ 想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側 50km 程度までの範囲で M7.0 以上の地震が発生したと評価した場合 ■ ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合	
調査終了	■ 巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合	
南海トラフ地震関連解説情報		発表条件
	■ 観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合 ■ 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合(ただし臨時情報を発表する場合を除く)	

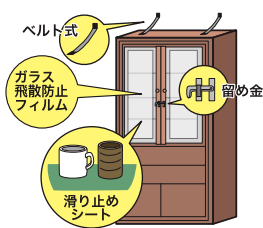
大きな地震への備え

すぐにできることから始めよう（日頃からの地震への備え）

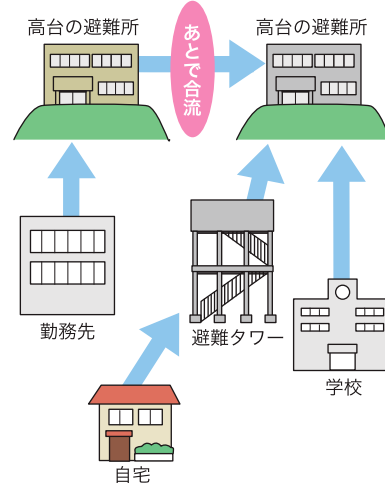
●家具の固定



●強い揺れで物が落ちてこないか



●避難場所や避難経路



●家族との集合場所を話し合っているか

いざという時の集合場所を家族で話し合っておこう。



●非常持ち出し袋

避難先で一夜を過ごすこともあります。季節によって中身を変えたり等、工夫しましょう。

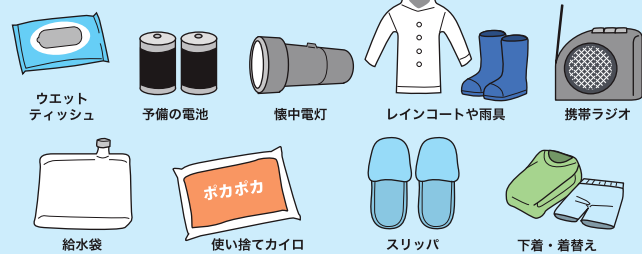
貴重品



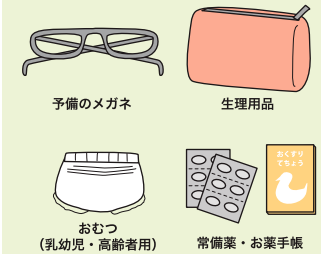
まず入れておくもの



入れたほうがいいもの



人によって必要なもの



? 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）とは？

南海トラフ沿いで発生した地震がきっかけで、南海トラフ沿いで連続して大規模な地震が発生する可能性が高まっている際に発表される情報のこと。

詳細は P16

? どういった行動をとればいいの？

南海トラフ沿いで連続して発生する大規模な地震に伴う津波からの避難が間に合わない地域（事前避難対象地域）の住民は1週間避難を続けてください。それ以外の地域の住民も地震に対する日頃からの備えを再確認してください。

詳細は P17～19





揺れを感じたら…

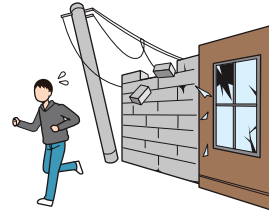
屋内

- すぐテーブルの下へ隠れる
- 慌てて火を消しにいかない



屋外

- ブロック塀や窓ガラスから離れる
- 倒れそうな電柱、垂れ下がった電線、落ちてきそうな看板などに近づかない
- 公園や空き地で揺れがおさまるのを待つ



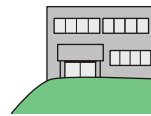
揺れがおさまったら…

●安全な場所に避難しよう

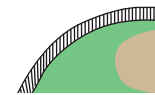
津波避難タワー



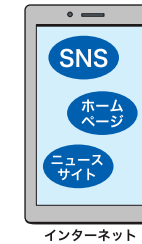
高台の避難所



高台の空き地等



●正確な情報を入手しよう



悪質なデマには気をつけよう!

信じていい情報

- 市町村、都府県、国が出す情報
- 地元の新聞社、テレビ局、ラジオ局の情報

正確ではない情報

- SNS等で流れるうわさ
- 「〇〇がこう言った」などの二次情報

津波の警報について

地震が発生してから約3分(一部の地震※については約2分)を目標に、大津波警報、津波警報または津波注意報を、津波予報区単位で発表します。この時、予想される津波の高さは、通常は5段階の数値で発表します。

※日本海で発生し、緊急地震速報の技術によって精度の良い震源位置やマグニチュードが迅速に求められる地震

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表(津波の高さ予想の区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超(10m<予想高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
		10m(5m<予想高さ≤10m)		
		5m(3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m(1m<予想高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m(0.2m≤予想高さ≤1m)	表記しない	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

避難のポイント

- ・震源が陸地に近いと津波警報・注意報が津波の襲来に間に合わないことがあります。強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- ・津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。
- ・津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
- ・津波は長い時間くり返し襲ってきます。津波警報・注意報が解除されるまでは、避難を続けましょう。



このあと、震度7の揺れがこの地域を襲いました。
 また、地震に伴う巨大な津波がこの一家の住む地域に襲来し、
 南海家の自宅は流されてしまいました。
 しかし、南海トラフ地震臨時情報を受け、
 この家族は事前に避難していたため、全員無事でした。
 南海トラフ地震はもしかすると明日に起こるかもしれません。
 そのときあなたならどうしますか。





会社近くのスーパー

長い列もないし
商品も少しは棚に
残っているな

海から少し
はなれただけで
えらい違いだ



海から少し離れた街は
たくさん灯りが
とまっている
それに比べて
海に近い地域は
真の暗

不思議な光景だ！



水とお菓子が
買ったぞ

やったー
夕飯がお菓子だ



私は家が高台の方
なので津波の心配は
ありませんが

次の地震に備えて
家具の固定などを
再確認しました

うん
水や食料の備蓄、
非常用持ち出し袋も
しっかり確認して
おかないとな



電車が動いて
助かったよ

避難先で親や子供の
面倒をみないといけない
ため出社できない社員が
いるようです

みんな生活は
大丈夫か？



勤務先到着

あ！
課長！

よくここまで
来られましたね



そのあと
会議だ

BCPをもとに
次の地震が発生した
場合の会社の方針を
決めよう

はい！

? BCPとは？

不測の事態が発生しても、事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い期間で復旧させるための方針、体制、手順等を示した計画のこと。



じゃあまずは
震源に近い関連会社の
被害を調べてくれ

はい！